

次の水質汚濁防止法第1条(目的)の条文について、下線部ア～エの語句の正誤を正しく組み合わせているのはどれか。

この法律は、工場及び事業場からア公共用水域に排出される水の排出及び地下に浸透する水の浸透を規制するとともに、生活排水対策の実施を推進すること等によって、ア公共用水域及び地下水の水質の汚濁の防止を図り、もつて国民の健康を保護するとともにイ水環境を保全し、並びに工場及び事業場から排出されるウ汚水及び廃液に関して人の健康に係る被害が生じた場合における事業者のエ補償の責任について定めることにより、被害者の保護を図ることを目的とする。

- |    | ア | イ | ウ | エ |
|----|---|---|---|---|
| 1. | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3. | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5. | 正 | 誤 | 誤 | 正 |

**正答 4**

SDGs と物質循環に関する次の記述の空欄①～③に入る語句の組合せのうち、最も適切なものはどれか。

2015 年に国際連合で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」で定められている「持続可能な開発目標」(SDGs) の 17 のゴール(目標)のうち、アイコンに掲げられた目標 12 「( ① )」の下位目標(ターゲット)では、2030 年までに世界全体の一人当たりの( ② )を半減させることを目標としている。日本全国における( ② )の量は 2018 年度で約 2,531 万トン\*と推計されており、( ② )を削減するため、国では( ③ )法などにより取組を進めている。

※ 有価として扱われる物の量も含む。

	①	②	③
1.	海の豊かさを守ろう	プラスチックの廃棄	プラスチック資源循環促進
2.	つくる責任, つかう責任	食料の廃棄	食品ロス削減推進
3.	飢餓をゼロに	食料の廃棄	循環型社会形成推進基本
4.	海の豊かさを守ろう	食料の廃棄	食品リサイクル
5.	つくる責任, つかう責任	プラスチックの廃棄	容器包装リサイクル

正答 2